

青少年委員だより

一人でも多くの子どもたちの笑顔を見るために 第148号



平成29年11月19日(日) 江戸川中央たんけん隊 (村井染工場)



2年間を振り返る
江戸川区青少年委員会
会長 本間 英雄

私たち青少年委員が子どもたちの笑顔と元気な声を聞いていますと、2年間はあっという間に過ぎてしまいました。今期の活動も地域の多くの人たちのご協力をいただき、充実した時間を過ごすことができました。この2年間の始まりに郷土を愛する子どもたちになってほしいと願いをこめましたが、それは自分たちの住んでいる地域をもっとよく知って欲しいと思っただけからです。

城東ブロック研修大会の分科会において、6分科会はそれぞれ素晴らしい研究成果を発表しました。参加いただいた各区青少年委員の皆様と、真剣に子どもたちの健全育成に取り組む様子をしっかりと見ることができ、改めて青少年委員の素晴らしさを実感することができました。今回の分科会に「子どもの文化体験研究グループ」があります。江戸川区内を歩き魅力ある人とふれあい、地元再発見をテーマにしたグループです。今回は蓮田保存会の並木様に変お世話になりましたが、このほかにも「お寺に泊まろう」、小松川地区部会の「学校に泊まろう」など、地域を歩き地域の素晴らしさを子どもたちと一緒に体験していただける多くの皆様に巡り会えました。参加してくれた子どもたちが感じた気持ち、少しずつ郷土江戸川区を愛する気持ちにつながるのではないのでしょうか。

さらに、今期はオリンピック・パラリンピック東京大会に向けた体験活動も盛んで、このような機会がなければとても触れ合うことができないポッチャ競技を体験することができました。また、江戸川区がカヌー競技会場になった関係で、先ほど紹介した城東ブロック研修大会において、江戸川区力又一協会顧問 藤野強様に「スポーツを通じた健全育成」というテーマでご講演いただきました。

地域独自の活動、学校と一体となった活動などまだまだたくさんご紹介したい活動もありますが、私たち青少年委員は今期より来期、一人でも多くの子どもたちの笑顔を見るため一丸となって頑張っていきます。どうか地域の皆様、健全育成に係わる関係諸団体の皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

雨でウォーキングは中止

残念!!

平成29年11月23日(木・祝)に行われました「ウォーキングフェスタえどがわ2017」は雨のためウォーキングは中止となりました。

早朝より会場の平井南小学校に準備のため集まった運営の人たちは、テント内で降りしきる雨を残念な気持ちで見つめるだけでした。雨天決行の案内でしたので、式典時間の9時には雨にもかかわらず、大勢の参加者が集まりました。青少年委員は、入口でブルージャージに雨よけポンチョを被り受付業務を行いました。

式典は「ウォーキングは中止となったこと」「予定していた抽選会を別の方法で行うこと」「もぎ店に温かい飲み物があること」などを

ウォーキングフェスタえどがわ2017



伝え、予定を短縮して終わりました。物足りなさを残して帰る人がいる一方、景品を濡らさないように笑顔で持ち帰る方もいました。雨の降りやまない帰り道、小松川橋を颯爽と歩くブルージャージ姿が頼もしく見えました。(文責・中央地区 斉田治)



平成29年12月10日(日)江戸川スポーツランドにて「第35回氷上フェスティバル」が開催されました。当日はプロスケーターの小沼裕太氏、橋本誠也氏、江戸川スポーツランドクラブのみなさんによるエキシビジョンが行われ、とても盛り上がりました。私たちが青少年委員は例年のごとく、来場された方々を対象として、おりがみとストローで「ストローかざ

第35回氷上フェスティバル



ぐるま」を作ることにしました。入口の受付テーブルに事前に作っておいたかざぐるまを展示したところ、風がちょうど当たりとても良く回ってくれて、来場者の目を引いたようです。今年も多くの方々に楽しんでいただけて、充実した一日を過ごせました。(文責・東部地区 萩原佐智子)

はたちを楽しむ つどい

はたちの
手形

平成30年1月8日(月・祝)、今年も盛大に執り行われた成人式には、昨年よりも209名増え7600名となった区内の新成人のうち、約4000名が会場となっている江戸川区総合文化センターを訪れました。

人、独創的過ぎる達筆な字を書く人など、バラエティーに富んだ記念の一枚が今年も数多く生まれました。

作品の引渡しで行う祝いの方も例年通り大賑わい！新成人たちも笑ったり写真を撮ったり、そして一緒にやったりと、お祝いの瞬間、その場は興奮の坩堝と化します。

バンザイやエール、三本締

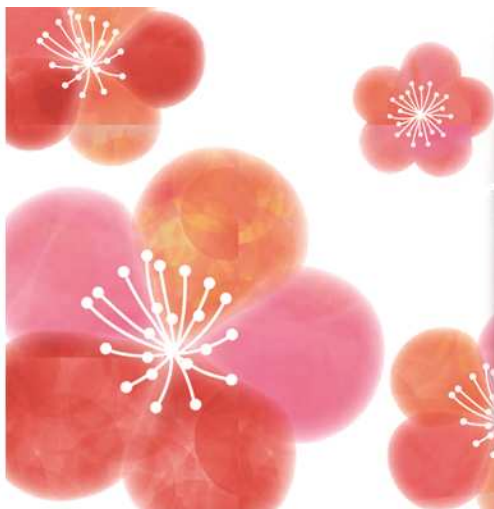
そんな中、私たち青少年委員の「はたちの手形」コーナーには300名程が立ち寄ってくれました。慣れた手つきで筆を走らせる人、入念に下書きしている人、何を書こうか悩んでいる



めに比べヨヨヨイのパターンが少なかったものでちよつと心残りなお祝いでしたが、新成人の記憶に残っていてくれたら嬉しいです。

そんな新成人の中には、中学の後輩の息子がいたことを後から聞き、はたちの手形にも寄ってくれたのに全く気付かなかったことが残念でした。

25年前に同じ場所で成人を祝ってもらった自分が新成人をお祝いしてあげられる程の大人になれているかは定か



はありませんが、改めて新成人の皆さん、おめでとうございます！

(文責・東部地区 松岡秀幸)

小学生の放課後研究グループ

小学生の放課後研究グループは、今期9名でスタートしました。

江戸川区が誇る「すくすくスクール事業」を通して子どもの放課後の過ごし方、地域の関わり、可能性について研究しています。

「活動の基本は現場に有り」の精神のもと、参加型の考察を行います。

活動の一部として、統廃合により本年開校した清新ふたば小学校を訪問しました。開校への準備から現状までのお話を伺い、学校、すくすくスクール、地域の皆様方のご苦勞、子どもたちへの愛情を痛感しました。

その他、すくすくスクール主催イベント



マンカラでは

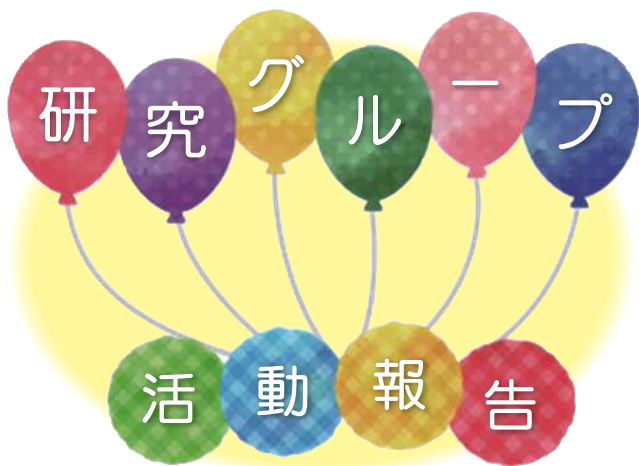
おとなげ
大人気なさを発揮

トへの参加協力を積極的に行いました。「新堀小マンカラ大会」「篠崎第三小流し

そうめん」「下鎌田っ子まつりストロー風車作り」「ひがこままつりバルーンアート」等々、地域性と独自性を肌で感じながら私たちに求められること、出来ることとは何かを探索しています。

また、城東ブロック研修大会では他区へのマンカラの普及に一役かったと自負しています。とは言え、我々はかなり大人気なく子どもと遊ぶ集団であります。

(リーダー・新保公司 文責・大橋一成)
※マンカラ：海外で古くから遊ばれているボードゲーム



自分の命は自分で守る

「自分の命は自分で守る」ということを子どもたちに伝えたいと思い立ち上がった「防災意識を高める研究グループ」は、今期2期目を迎えました。

葛西防災公園・小松川防災施設の視察・見学から今期の活動がスタートしました。前期から引き続き、避難所運営ゲーム「HUG」の普及にも積極的に取り組みました。2017年1月には東京都連合協議会特別研修で講習会を開催し、さらに、城東ブロック研修大会分科会においても江東区・墨田区の青少年委員の皆さまに体験していただきました。

今期初めての活動としては、「身近なもので簡単につくれるエナジーバー」講習会を青少年委員会定例研修会において開催しました。

また、巨大ハザードマップ作り、防災避難訓練や子ども防災イベントでの段ボールハウス作り・火おこし等様々な体験を通して、各地域の

防災意識を高める研究グループ

子どもの文化体験研究グループ



一之江抹香亭茶道体験

この2年間地元の色々な方を訪ね歩いたことで、私たち14名の研究グループ員も子どもたちと同様に新発見や感動を得ることができました。



山川氏指導で組子細工コースター作り



村井染工場見学

地域が広いため見学コースの選定に苦勞し、4地区委員会の協力のもと、午前（松江北・一之江地区コース）・午後（西小松川・松江南地区コース）の2コースに分け、合わせて35名の地元の小学生が参加してくれました。

また、この活動を同年9月の城東プロック研修大会で他区の青少年委員の皆様にも「街歩き」として体験してもらいました。子どもたちが地域の文化を体験できる機会作りが自分たちも豊かにしてくれていることを自覚して、さらに充実した活動を広げていきたいと思えます。（リーダー・高原賢一 文責・斉田治）



青少年委員活動の大きな特徴に研究グループ活動があります。2年(1期)ごとに青少年委員が研究したい分野を考え、グループで活動を行っています。今期は6グループが活動しており、研究で習得した技術や能力を、地域での活動で実践しています。



子どもたちへ防災意識を高める活動をしました。今後も、小さな一步一步の積み重ねを続け、防災への意識を高めていく活動を継続していきたいと思っています。（リーダー・笠松志保 文責・星光紀）

11月定例会
人権擁護委員
講演



宮本道子氏

平成29年11月17日（金）、人権擁護委員の宮本道子氏をお招きして、人権や人権擁護委員についての講演をしていただきました。

大変わかりやすく話をしていたいただき、人権擁護委員の方々の活動や役割を知り、学ぶことができました。

この講演で知ったこと・学んだこと・中学生の思いを胸に刻み、今後の青少年委員の活動に生かしていきたいと思えます。
（文責・研修部 上島幹子）

1月定例会
白井教育長
講演

教育の現状と
課題を知る



平成30年1月19日（金）、江戸川区教育委員会の白井正三郎教育長より「江戸川区の教育の現状と課題」と題して、ご講演いただきました。

江戸川区の特長、子どもをめぐる時代と環境の変化などを、写真やグラフを見ながらお話を伺いました。子どもを

育てるのは大人、という結びでは、大人は子どもにどのよう伝え、理解させ、どんなバトンを渡せるのか？というメッセージに今まさに私たちが試されていると実感しました。
（文責・研修部 笠井雅世）

「区長との懇親会」

平成29年12月15日（金）グリーンパレスにて、区長と青少年委員との懇親会が行われました。当日は、多田区長の公務が重なり、山本副区長と鈴木地区委員長が副会長をお迎えして、和やかな雰囲気の中にも活発な意見交換が行われていました。

本間会長からは、今後子どもたちが「郷土を愛する心」を育む、江戸川区らしさのある、途切れることのない活動を続けていこうとの委員を代表する挨拶がありました。

副区長からは、青少年委員の日頃の活動は、青少年が健やかに育つ、江戸川区の誇る「地域力」の一翼を担っているなどと労いと成人式を始めとする区行事や地域での今後の活躍への期待の言葉をいただきました。

その後、各テーブルにて、青少年を取り巻く現状と課題について意見交換をし、懇親を深めました。
（文責・広報部 山田通久）

■ お悔やみ ■
平成29年12月13日葛西北地区部会の塩瀬葉子委員が逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げますと同時に心よりご冥福をお祈りいたします。



今期のメンバーでの、最後の青少年委員だよりとなりました。次号からは新たなメンバーでの紙面づくりとなります。



広報部一同

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会
編集 広報部
連絡 江戸川区文化共育部
健全育成課青少年係
☎ (五五六二) 一六二九